

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。



夢・感動通信

子どもたちの表現力が向上
～プレゼンフェスティバルin那須～

No.12



「学び」は、一つの正解を見つける（教えられる）ものから、多くの方が納得できる「解」を見つけていくものに変わってきました。自ら問いを立て、仮説を立てて検証し、他と協働して納得解を探していく、「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブラーニングが求められています。小中学校の「総合的な学習の時間」や、高等学校の「総合的な探究の時間」は、そうした学びの充実が特に期待される教科です。

また、自分の思いをどう発信・表現するかが以前にも増して重要視されています。学校では、学んだ成果を多様な表現方法でわかりやすく人に伝える「プレゼン力」の向上を図っています。

町では昨年度、小学生から大人まで個人の学びを大勢の人の前で発表する「プレゼンフェスティバルin那須」を開催しました。「商店街PR」「高齢者に優しい町」「篠細工」「消防団」など、テーマは様々。タブレットやパネルを使ったり、振り付けしたり、中には参観者の反応に合わせた冗談で会場を沸かせる子もいました。

自らが立てた「問い」を探

求し、思い思いの方法で発表する子どもたちの姿に、参観者からは「未来が明るく見える話が聞けて嬉しい」という声が聞こえました。今年度のプレゼンフェスティバルin那須は、2月8日 文化センターで行います。子どもたちの豊かなプレゼン力をぜひ会場でご覧ください。

▼問合せ 学校教育課学校教育係
☎ 0287-6922



小学生9組、中高生6組が参加しました

那須のいろいろなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

ほっとひと息 12



オーナーの加地吉則さんと妻の彩登子さん



こだわりのドリップコーヒー、自家農園で育てた野菜をふんだんに取り入れたチーズと玉子の焼きカレー



画家であるお義父さんの作品が店内に飾られています



自然の木々に囲まれたロケーションにひっそりと佇んでいます

国際的に認められたバリスタの資格を持つオーナーの加地吉則さん。サラリーマン時代からコーヒーの勉強を積み様々な大会に出場して来ました。2014年4月、埼玉県から移住しカフェをオープン。きっかけは震災後に陸前高田市に住んでいた義理の両親との同居が決まったことで、家族みんなの理想とする環境の中、カフェを営むという使命を感じたから。

「豆や技法にこだわった最高のコーヒーを、都会ではなく自然豊かな空間で提供したかった」と話す吉

則さんの入れるドリップコーヒーやカフェラテは遠方からのファンも多いようです。

料理やケーキのメニューは調理師だったお義母さんのレシピを元に妻の彩登子さんが担当しています。

「コーヒーのスペシャリストを増やしたい」と語る吉則さん。定期的に「コーヒースクール」を開き、自分がこれまでに習得してきた技術や知識を伝授しているそうです。

里山にひっそり佇む隠れ家カフェには、こだわりの詰まった世界レベルのコーヒーが待っていました。

田中公民館 じゃり道
田中小路

FRANKLIN'S CAFE
☎ 0287-74-2066
営業時間 11:00～20:00 (LO19:00)
定休日 水曜日

至黒田原 高久駅 至黒磯